

JANN 第 11 回トピックス研修

『透析患者の終末期のケアの在り方を考える』

日 時:平成 29 年2月 26 日(日) 10:00~16:00

場 所:関内新井ホール 横浜市中区尾上町 1-8 JR 関内駅南口下車徒歩 5 分

参加費:6,000 円 事前申込制 ※DLN受験・更新ポイント 参加 6 ポイント(会員のみ)

主 催:一般社団法人日本腎不全看護学会

高齢透析患者や認知症透析患者の看護、緩和ケア、そして終末期にある透析患者へのケアなど、近年、状況に応じた専門性の高い看護の提供が求められています。

今回は、終末期にある透析患者へのケアに焦点を当て、緩和ケアの講義と看取りの実践発表を基に参加者と一緒にケアの在り方を考えます。

会員でない方も参加できます。職場の皆様にもぜひお声掛けいただき、多数ご参加ください！

9:30 開場・受付

10:00-11:45 講義

『透析患者の緩和ケア ～全人的ケア、医療者自身の心のケア、死から生といのちを考える～』

講師:高宮 有介 先生(昭和大学医学部 医学教育学)

11:45-13:00 昼食・休憩

13:00-16:00 シンポジウム“透析患者の看取りを考える”

座長:三村 洋美 先生(昭和大学保健医療学部)

●13:00-13:45 『透析患者を看取ることの意味』

講師:諏訪免 典子 先生(株式会社ケイツーマネジメント)

●13:45-14:15 『在宅での透析患者の看取り』

講師:真謝 清美 先生(ケア工房・真謝)

●14:15-14:45 『透析クリニックでの看取り』

講師:安斉 美幸 先生(医療法人真仁会 横須賀クリニック)

●15:00-16:00 全体討論

16:00 閉会